

## 工学部 入学者受入れの方針

---

---

工学部においては、基幹分野に関する基本的な知識の理解と技術の獲得と、豊かな創造性の涵養を図るために、工学系分野に興味・関心を持つ人を積極的に受け入れます。

高等学校において関連の教科、科目を幅広く学び、大学での学修に必要な基礎学力を有していること、学修活動、各種技術の習得において自己の研鑽を積み、実績を挙げていることを基本方針として、本学部では、数学と理系科目を重視した学力試験に合格した志願者とともに、課外活動を通して工学に関わる資格、実績などを有する志願者を受け入れます。「教育研究上の目的（理念・目的）」にある人材を輩出するため、以下に示す能力と意欲のある人を広く求め、受け入れます。

### <入学者に求める知識・技能・意欲・態度>

1. 一般選抜として、数学を重視した入学試験を実施し、その他の選抜として、理系学力以外に工学分野に関連する資格や実績を有する人の推薦入試を実施します。  
具体的に必要となる学力として、数学については、「数学Ⅰ・Ⅱ・A・B」の十分な理解が重要であり、システム・機械・電気系の分野では「数学Ⅲ、数学活用」の学習も望まれます。また、推薦入試においては、論理的思考の基本が必要となるため、基本的な作文力として国語における論述技術や表現力が重要です。
2. 各学科では、以下の能力と態度を有する人を受け入れます。
  - ・機械システム工学科は、機械・ロボット工学と情報技術を活かした実践力を持つ技術者を養成する人材に適し、ものづくりの創意工夫に関心があり、自ら設定した課題について遂行する意欲を有する人を募集します。
  - ・電気電子工学科は、電気、電子、情報、通信技術を活かした実践力を持つ技術者を養成する人材に適し、好奇心を持ち実験とその洞察に関心があり、自ら設定した課題を遂行する意欲を有する人を募集します。
  - ・情報工学科は、ソフトウェア開発、ネットワーク設計・構築・運用、情報システムの

ハードウェアやソフトウェアの設計、実装及び運用に携わる技術者養成に適した人材を求めており、論理的構成を積み上げることに関心があり、自ら設定した課題について遂行する意欲を有する人を募集します。

- メディア工学科は、デジタル技術を活用した創造的活動及びメディア工学技術の応用研究に興味があり、かつ、デザインやマネジメント等の活動にも関心をもつ、現代の幅広いニーズに応え得る技術者養成に適した人材を求めており、自ら設定した課題について遂行する意欲を有する人を募集します。

入学者選抜において、それぞれの評価方法をどの程度の比重で扱うかについては、下表のとおりです。

		前期・後期日程	推薦入試				グローバル特別	特別入試 帰国生徒 留学生 社会人
			A・M・F センタープラス センター利用	公募制推薦 (基礎学力 型)	一芸一能推 薦 (特I推 薦)	指定校推薦 (特II推 薦)		
<b>知識 技能</b>	高等学校で履修した教科科目について、基礎的な学力を有しているか。 高等学校在籍時に検定試験を受け、資格等を取得しているか。 部活動等で優秀な成績を修めたか 正確な日本語で「読む・書く・話す」ことができ、他者の考えを正確に理解し、自分の考えを伝えることができるか。	◎ 筆記試験 もしくは センター試験 で確認	◎ 筆記試験 で確認	○ 筆記試験 で確認	○ 筆記試験 で確認	○ 筆記試験 で確認	◎ 筆記試験 面接で 確認	○ 筆記試験 (小論文) で確認
<b>思考力 判断力 表現力</b>	自らの課題を発見し、その解決に向けて探究する力があるか。 成果等を表現するために、自分の考えをまとめ、相手に伝えることができる力があるか。	△ 筆記試験 もしくは センター試験 で確認	△ 筆記試験 で確認	◎ 志望理由 書 調査書 当日の面 接 で確認	◎ 志望理由 書 調査書 当日の面 接 で確認	◎ 志望理由 書 調査書 当日の面 接 で確認	○ 志望理 由書 当日の 面接で 確認	◎ 筆記試験 (小論文) 面接 で確認
<b>主体性 多様性 協働性</b>	主体性をもって、正課内外を問わず様々な活動に参加したか。 ルールをまもり、多様な人々とチームワーク(協働)をつくることができたか。 ベストを尽くすことができたか。 相手に敬意をもって物事に取り組むことができたか。 地域や国内外の社会とつながり、働きかけができるか。	△ 調査書 で確認	△ 調査書 で確認	△ 志望理由 書 調査書 当日の面 接 で確認	△ 調査書 推薦基準 で確認	△ 調査書 推薦基準 で確認	△ 当日の 面接で 確認	△ 当日の 面接で 確認